

令和

6

年度

事業者番号0317事業所番号036001

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C
C	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあつては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	コミュニティプラザ		
事業所所在地	市区町村	越谷市	
	字・地番	南越谷一丁目2876番地1	
産業分類名（中分類）	56 各種商品小売業		
分類番号（中分類）	56		
事業活動の概要	事業内容	イベントホール、出張所、図書室 スーパーマーケット 物販量販店 飲食・物販・サービステナント 事務所 地下駐車場	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間		2	年度	～	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	第3期計画期間 基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を22%とする。 (必要に応じて排出量取引を活用する)				
	その他ガス					
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量(計画期間合計)	29,815	t-CO ₂			
	削減目標量(計画期間合計)	8,410	t-CO ₂	事業所区分	第1区分ー(1)	

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間		7	年度	～	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)					
	その他ガス					

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	2,155	2,325	2,214	2,173	

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	4,233	4,564	4,348	4,268	
前 年 度 比（％）	—	7.8	-4.7	-1.8	
そ の 他 ガ ス	非エネルギー起源 CO ₂				
	メ タ ン				
	一 酸 化 二 窒 素				
	ハイドロフルオロカーボン				
	パーフルオロカーボン				
	六 fluor 化 い お う				
	三 fluor 化 窒 素				
温 室 効 果 ガ ス の 合 計	4,233	4,564	4,348	4,268	

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）CO₂換算（t-CO₂/指標）

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源 CO ₂ 排出量原単位	0.0725	0.0782	0.0745	0.0731	
前 年 度 比（％）	—	7.8	-4.7	-1.8	
活 動 規 模 の 指 標	単 位				
床面積	m ²	58,398.66	58,398.66	58,398.66	

(4) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
新型コロナウイルス感染症対策として、市民ホールの利用制限や商業テナントの営業時間短縮等を実施した影響により、エネルギー起源CO ₂ 排出量が減少した。						
令和3年度 (2021年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
新型コロナウイルス感染症に係る埼玉県からの要請事項の変遷に伴い、商業テナントの営業時間短縮が終了したこと、市民ホールの稼働率が昨年度よりも上昇したことにより、エネルギー起源CO ₂ 排出量が増加したと推察される。						
令和4年度 (2022年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
商業ゾーンの積極的節電対策や一部テナントの退店による電気使用量の減少により、エネルギー起源CO ₂ 排出量が減少したと推察される。						
令和5年度 (2023年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
電力では、過去の事例から電気需要を予測し、デマンドを下げ、最低限の電力で対応できるようにしたことと、外気温に合わせて空調温度を調整するように取組んだこと。ガスは、冬季の温熱容量を抑えたことと、一部飲食のテナントが退店した影響もある。こうした取り組みがCO ₂ 削減に寄与したものと考えられる。						
令和6年度 (2024年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	7,645	t-CO ₂ /年
基準排出量の検証	実施済	

(2) 基準排出量の変更

	変更年度	変更量 (t-CO ₂ / 年)
1		
2		
3		
4		
5		

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第1区分- (1)
----------	-----------

(4) 削減計画期間

2	年度から	6	年度まで
---	------	---	------

(5) 年度ごとの状況

(排出量等の単位：t-CO₂)

		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	削減期間 合計
基準 排出 量 等	基準排出量(A)	7,645	7,645	7,645	7,645	7,645	38,225
	目標削減率の 緩和措置						
	トップレベル認定						
	目標削減率(B)	22.00%	22.00%	22.00%	22.00%	22.00%	
	排出上限量 ($C = \Sigma A-D$)						29,815
	排出削減目標量 ($D = \Sigma (A \times B)$)						8,410
実 績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	4,233	4,564	4,348	4,268		17,413
	削減率 ($F = (A - E) / A$)	44.63%	40.30%	43.13%	44.17%		—
	排出削減量 ($G = A - E$)	3,412	3,081	3,297	3,377		13,167
各年度の排出量の検証		実施済	実施済	実施済	実施済		

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区 番	分 号	区 分 名 称				
			大 区 分				
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	地球温暖化対策に関する推進組織の整備（第3計画期間も継続）		R1以前	
2	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	空調機インバーター制御（空調機11台インバーター導入）		R1以前	207.0
3	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	給排気機インバーター制御（浄化槽給気機、排気機）		R1以前	43.0
4	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	高効率・LED型器具への交換、間引き（照明器具、誘導灯LED化）第3計画期間も継続		R1以前	16.0
5	120500	熱源設備・熱搬送設備	12_熱搬送設備の運転管理	空調用ポンプインバーター制御（冷水1次ポンプ1台、冷却水ポンプ1台）		R1以前	20.0
6	120200	熱源設備・熱搬送設備	12_冷凍機の効率管理	空調用冷凍機を高効率冷凍機に更新（1台）		R1以前	14.0
7	120500	熱源設備・熱搬送設備	12_熱搬送設備の運転管理	空調用ポンプインバーター制御（冷水1次ポンプ1台、冷却水ポンプ1台）		R1以前	20.0
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

--